



F&A AQUA
holdings, inc.

株式会社F&Aアクアホールディングス

第61期株主通信 (2010年3月1日から2011年2月28日まで)

株主の
皆様へ

当社グループは、全てのステークホルダーに対して誠実に対応し、信頼される企業、夢を与えられる企業、貢献できる企業、期待される企業を目指すことを経営理念としています。そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。

代表取締役社長 木村 祭氏

2010年度の総括

第二次中期経営計画の2年目にあたる2011年2月期において、連結営業収益は464億円、営業利益25億円、経常利益30億円となりました。資産除去債務に関する会計基準の早期適用による特別損失*1 4.9億円を計上しましたが、当期純利益は10億円となり期初計画をほぼ達成することができました。当期は主力のブランド事業が好調に推移したほか、(株)アスティのアパ

レルODM事業の好調や(株)アージュの関西ドミナント戦略*2が奏功したことが業績に貢献しました。一方、(株)三鈴のアパレルSPA事業につきましては、商品政策の精度に課題を残し、期待通りの結果を上げるまでに至りませんでした。

*1 資産除去債務による特別損失:土地・建物などの有形固定資産を除去・解体する際に発生する撤去費用等を負債に計上し、過年度分について特別損失として利益から控除する会計処理。
*2 特定地域内に集中した店舗展開

来期の重点施策

2012年2月期は第二次中期経営計画の最終年度となります。期初にあたる2011年3月には、東日本大震災という未曾有の災害に見舞われることとなりましたが、幸い当社への影響は限定的でございました。しかしながら、東日本を中心に個人消費の動向に楽観は許されないと考えています。厳しい1年となり

ますが、第二次中期経営計画の基本方針を堅持し、マネジメント体制を強化することにより、全社一丸となって2012年2月期の目標である営業収益450億円、営業利益27億円、経常利益30億円、当期純利益12億円の達成へ向け努力してまいります。

こだわりを持って挑戦し、価値を創る

当社グループとして、4つの事業会社グループの社員に求めてきた精神は、現場において直面する課題に対して議論を重ね、行動するという事です。私達を取り巻くマーケット状況の厳しさは今後も変わることはありませんが、社員一人ひとりが、こだわりを持って価値を創っていくことが、長期にわたる持続的な成長に繋がっていくと考えています。株主の皆様におかれましては、当社の発展を支える大切なステークホルダーとして、ご支援・ご助力をいただけましたら幸いです。

第二次中期経営計画(2009年3月~2012年2月) テーマ: 挑戦と改革 Challenge & Innovation

基本事業戦略

1. 事業ポートフォリオの確立
2. 新たなマーケット、ビジネスへの挑戦
3. 信頼性の高い企業グループの構築

配当政策

連結配当性向25%以上、連結営業利益の20%を目途
中間配当10円、期末配当10円、年間配当20円



東日本大震災における被災地・被災者へのご支援に関するお知らせ

東日本大震災により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

F&Aアクアホールディングスグループでは、当震災による被災者の皆様の救援や被災地の復興にお役立ていただきたく、義援金500万円を日本赤十字社を通じて寄付するとともに、4,000万円相当の衣料品等14,000点を寄贈いたしました。皆様のご無事と被災地域の1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

「挑戦と改革」の進捗 F & A WAY

F&Aアクアホールディングスは、ジュエリーを中心としたブランドSPA機能を持つエフ・ディ・シー・プロダクツグループ、アパレルおよびバッグメーカー、卸事業を行うアスティグループ、SPA型リテール事業を行う(株)三鈴、小売事業を行う(株)アーヂュの4事業グループで構成されています。それぞれの事業グループの2010年度の主な施策と成果、および2011年度の課題と取り組みについてご紹介します。

エフ・ディ・シー・プロダクツグループ

2010年度は、主力の「4℃」(ヨンドシィ)ジュエリーがブライダルショップの躍進により増収となるなど、全ブランドで売上予算を達成しました。

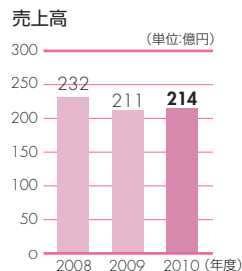
2011年度は、「4℃」ブライダルショップや「canal4℃」(カナルヨンドシィ)の積極的な出店に加え、「ネットビジネスの拡大」「海外戦略の推進」により、新規マーケットの拡大を進めます。また、既存店の活性化により、既存マーケットの再構築にも取り組んでいきます。

■2011年度の重点施策と業績計画

- ・新チャネル開拓による成長
 - ・ブライダル店舗の増加による利益率の向上
- | | |
|--------|-------------------|
| 売上高計画 | 217.0億円(前期比+1.3%) |
| 営業利益計画 | 28.0億円(前期比+4.2%) |



銀座店はブライダルショップの中でも本店と位置づけています。ダイヤモンドルースの品揃えも全国1番の店舗です。



アスティグループ

2010年度は、相手先ブランドの企画・デザイン・製品化を請け負うODM事業を成長の機軸に据え、「企画提案力」の強化に取り組みました。アパレル卸部門では当社の強みが発揮できる商品に絞り込み、小商圏フォーマットの得意先に向けた企画提案力を強化し、ポジショニングを拡大することができました。

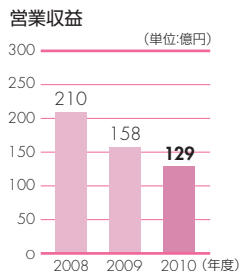
2011年度は、ベトナムでのカットソーラインの確保を始め生産背景の再整備を進めるとともに、さらなるODM事業の拡大を図っていきます。

■2011年度の重点施策と業績計画

- ・アパレルODM事業の拡大
 - ・生産背景再整備・集約でコスト削減
- | | |
|--------|-------------------|
| 営業収益計画 | 122.1億円(前期比△5.4%) |
| 営業利益計画 | 2.8億円(前期比+269.7%) |



バッグODM事業は新たにメンズの企画をデビューさせ、新規ブランドや新規得意先の開拓が進みました。



(株)三鈴

2010年度は、アパレルSPA事業の構築を目指し、ブランドの明確化とイベントの強化による収益拡大を図りましたが、マーケットの冷え込みと新店の不振により、苦戦しました。

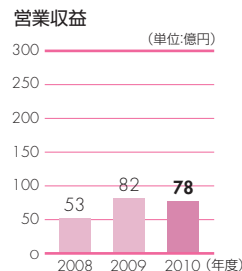
2011年度は、複数ブランドでの共同開発を行うことにより鮮度ある商品を提案するとともに、接客力のさらなる向上に取り組み、ブランドの確立を目指します。また、不採算店舗からの撤退とローコスト運営を実践し、徹底した収益改善を推進していきます。

■2011年度の重点施策と業績計画

- ・ブランドの確立による売上確保
 - ・不採算店舗からの撤退と本部経費等の削減による利益体質の強化
- | | |
|--------|-------------------|
| 営業収益計画 | 60.6億円(前期比△22.1%) |
| 営業利益計画 | 0.0億円(前期比-) |



2011年3月、ラゾーナ川崎プラザ3FにDouble dozzle(ダブルドール)がオープンしました。大人の女性にぴったりの洗練されたカジュアルスタイルを提案します。



(株)アーヂュ

2010年度は、「パレット」本部の関西への移転により、仕入先との商談頻度アップや店舗への迅速な対応が実現し、荒利益率の改善と既存店の売上高維持に繋がるなど、大幅な損益改善となり、目標を達成しました。新店も2009年度と同様、好調に推移しました。「4℃」はブライダルショップによる新規マーケットの開拓が進みました。

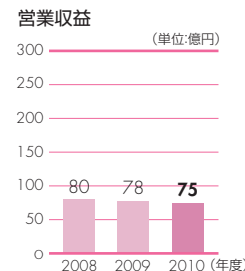
2011年度は、「LOU」(ルウ)と「ラポール」の損益改善、「パレット」の関西地区でのマーケット拡大と婦人ヤングゾーンを中心とする商品力の強化を目指します。

■2011年度の重点施策と業績計画

- ・「パレット」の関西ドミナント出店等によるマーケットの開拓・拡大
- | | |
|--------|-------------------|
| 営業収益計画 | 80.3億円(前期比+6.4%) |
| 営業利益計画 | 1.1億円(前期比+395.5%) |



2010年度、「パレット」は関西地区に2店舗出店しました。オープン後も好調に推移しています。



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	2010年2月期(第60期) (2010年2月28日現在)	2011年2月期(第61期) (2011年2月28日現在)
(資産の部)		
流動資産	11,263	10,873
固定資産	40,943	40,514
資産合計	52,207	51,387
(負債の部)		
流動負債	11,613	9,764
固定負債	3,255	3,806
負債合計	14,868	13,570
(純資産の部)		
株主資本合計	37,558	37,973
評価・換算差額等合計	△221	△164
新株予約権	—	5
少数株主持分	2	1
純資産合計	37,338	37,816
負債及び純資産合計	52,207	51,387

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	2010年2月期(第60期) (2009年3月1日から2010年2月28日まで)	2011年2月期(第61期) (2010年3月1日から2011年2月28日まで)
営業収益	48,430	46,433
売上高	46,779	45,225
売上原価	22,250	20,972
売上総利益	24,528	24,252
その他の営業収入	1,650	1,208
営業総利益	26,179	25,461
販売費及び一般管理費	23,767	22,961
営業利益	2,412	2,499
営業外収益	306	545
営業外費用	103	67
経常利益	2,614	2,978
特別利益	897	24
特別損失	1,414	962
税金等調整前当期純利益	2,097	2,039
当期純利益	978	991

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

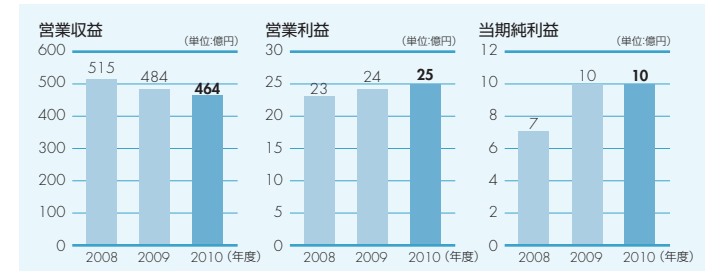
ブランド事業の好調とコスト削減等により、当期の営業収益は464億33百万円(前期比4.1%減)、営業利益は24億99百万円(前期比3.6%増)、経常利益は29億78百万円(前期比13.9%増)、当期純利益は9億91百万円(前期比1.4%増)と、減収ながら営業利益、経常利益、当期純利益ともに増益を達成しました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	2010年2月期(第60期) (2009年3月1日から2010年2月28日まで)	2011年2月期(第61期) (2010年3月1日から2011年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,847	2,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△384	△966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,103	△1,904
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△640	△15
現金及び現金同等物の期首残高	1,159	518
現金及び現金同等物の期末残高	518	502

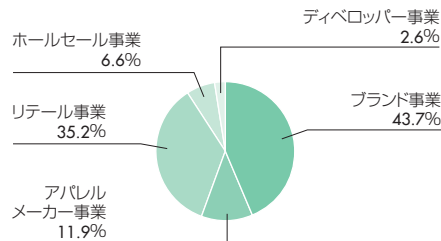
注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。



セグメント情報

項目	金額	事業説明
営業収益	464億円	■ ブランド事業 (株)エフ・ディ・シー・プロダクツが展開するブランド事業では、「4℃」プライダグショップの展開による専門店マーケットへの進出、「EAUDOUCE4℃」(オデューズヨンドシ)、[canal4℃]の計画を上回る健闘により売上高は前期に比べ増加しました。利益面では、「RUGIADA」(ルジアダ)の損益改善や「4℃」バッグの黒字転換等により、前期に比べ増加しました。
営業利益	25億円	■ アパレルメーカー事業 (株)アスティのOEM部門では、新規顧客の開拓や新規素材開発等により受注が増加し好調に推移しましたが、(株)上田靴下の解散等により売上高は前期に比べ減少しました。
経常利益	30億円	■ リテール事業 (株)三鈴は、SPA事業の構築を目指しましたが、売上高、営業利益ともに前期を下回りました。(株)アージュは、「LOU」や「ラポール」の客数減により売上高は前期に比べ減少しましたが、利益面では、「パレット」が好調に推移したことにより、前期に比べ増加しました。フラグス(株)(飲食の専門店チェーン展開)は、店舗数の減少により、売上高、営業利益ともに前期を下回りました。
当期純利益	10億円	■ ホールセール事業 (株)アスティが展開するホールセール事業では、スクール商品は好調に推移しましたが、一般小売店を中心とした主力得意先の廃業や既存中型店におけるマーケット規模縮小の影響により、売上高は前期に比べ減少しました。
		■ ディベロッパー事業 (株)アスティが展開するディベロッパー事業では、適切なメンテナンス管理とテナント物件のリーシング等を行ってきましたが、一部賃貸物件の取り壊しもあり、不動産賃貸収入、営業利益ともに前期を下回りました。

● セグメント別売上構成 (2011年2月期)



● 事業区分別業績

売上高	(単位:百万円)		
	2010年2月期	2011年2月期	前期比
ブランド事業	19,723	20,288	+2.9%
アパレルメーカー事業	6,755	5,544	△17.9%
リテール事業	16,972	16,346	△3.7%
ホールセール事業	3,346	3,061	△8.5%
ディベロッパー事業	1,632	1,192	△27.0%

注1:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。
注2:外都顧客に対する売上高を表示しています。

営業利益	(単位:百万円)		
	2010年2月期	2011年2月期	前期比
ブランド事業	2,343	2,710	+15.7%
アパレルメーカー事業	△32	△82	—
リテール事業	△68	△6	—
ホールセール事業	△91	△51	—
ディベロッパー事業	570	218	△61.7%

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

株主情報

株式情報 (2011年2月28日現在)

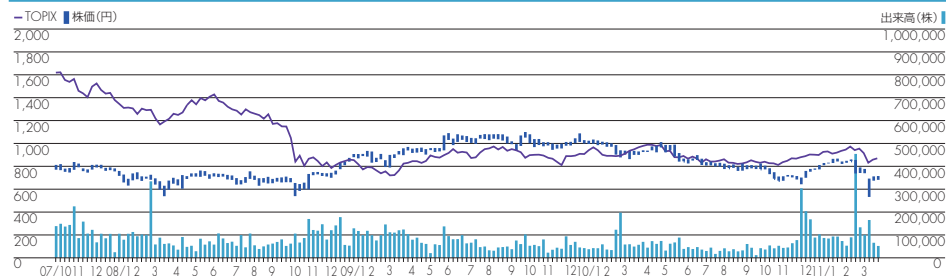
発行済株式総数	30,331,356株
1単元株式数	100株
株主数	9,322名

大株主 (2011年2月28日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フジ	5,224	17.22
株式会社広島銀行	1,442	4.75
第一生命保険株式会社	1,424	4.70
F&Aアクア共栄会	1,068	3.52
株式会社三井住友銀行	781	2.58
東京海上日動火災保険株式会社	758	2.50
株式会社伊予銀行	739	2.44
F&Aアクアホールディングス従業員持株会	492	1.63
株式会社りそな銀行	485	1.60
株式会社ともみじ銀行	477	1.57

注:当社は自己株式891,110株を保有しておりますが、大株主からは除外しております。

株価推移



株主メモ

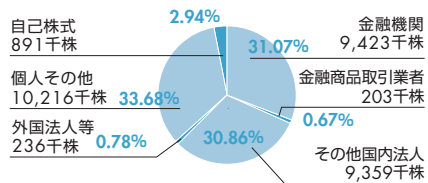
決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂7-10-11 (お問い合わせ先) 電話 (0120)232-711 (通話無料) (各種手続き用紙のご請求) 電話 (0120)244-479 (通話無料)
公告	(公告方法)当社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載を行います。 (公告を掲載するホームページアドレス) http://www.fa-aqua.co.jp/ir/koukoku.html/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8008

(ご注意)

1. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取り扱いできません。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
3. 配当金の口座振込のご指定につきましては、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。

株式分布状況 (2011年2月28日現在)

■所有者別株式分布



IRカレンダー

決算発表・説明会	毎年4月中旬
定時株主総会	毎年5月下旬
第1四半期決算発表	毎年7月上旬
第2四半期決算発表・説明会	毎年10月中旬
第3四半期決算発表	毎年1月上旬

会社概要 (2011年2月28日現在)

社名	株式会社F&Aアクアホールディングス (英文)F&A AQUA HOLDINGS,INC. (略称)F&AアクアHD
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日 (2006年9月1日株式会社アスティから社名変更)
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするブランド事業 アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業 小売事業
関係会社	14社

役員 (2011年5月26日現在)

代表取締役会長	細田 信行
代表取締役社長	木村 祭氏
代表取締役専務	田村 英樹
常務取締役	鈴木 秀典
常務取締役	宮本 聡
常務取締役	岩森 真彦
取締役	大木 茂生
取締役	西村 政彦
取締役	瀧口 昭弘
常勤監査役	田坂 英二
監査役	上村 信彦
監査役	藤森 友明

当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、2011年度より四半期毎に作成することとし、構成もリニューアルしました。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。⇒ <http://www.fa-aqua.co.jp/>

IRお問い合わせ先 総務部 総務課
TEL:03-5719-3429 FAX:03-5719-4462
E-mail:ir@fa-aqua.co.jp



F&A AQUA
holdings,inc.

事業会社の概要

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

代表者	代表取締役社長 田村 英樹
本社所在地	〒141-8544 東京都品川区上大崎二丁目19-10
事業内容	ジュエリー、バッグ等の企画・製造
創業	1972年4月
設立	1986年4月
資本金	4億円
URL	http://www.fdcpc.co.jp/

株式会社アスティ

代表者	代表取締役社長 木村 祭氏
本社所在地	〒733-8641 広島市西区商工センター二丁目15-1
事業内容	アパレルおよびバッグメーカー、アパレル卸
設立	2006年9月
資本金	4億円
URL	http://www.asty.co.jp/

株式会社三鈴

代表者	代表取締役社長 岡藤 一朗
本社所在地	〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目11-2 代々木コミュニティビル2F
事業内容	婦人服・雑貨の企画・製造・販売
設立	1970年3月
資本金	2億9,750万円
URL	https://www.misuzugp.co.jp/

株式会社アーजू

代表者	代表取締役社長 石角 毅
本社所在地	〒733-0833 広島市西区商工センター二丁目15-1
事業内容	総合衣料チェーン、 レディスカジュアルチェーン等の運営
設立	1996年3月
資本金	3億1,200万円
URL	http://www.agegroup.jp/